

## 納涼大盆踊り大会

8月11日に、まちなかモール委員会主催による納涼大盆踊り大会が、星川通り広場で行われた。盆踊りの前に、催し物もあり、小さな子供からお年寄りまで沢山の人々が集い、櫓を囲んだ。婦人会がリードをして始まった盆踊りは、皆、音楽に合わせて舞い、熱い熊谷の夜を楽しんだ。

副会長 笠原 洋子



## 灯籠作り

8月7日9時より市営駐車場会議室におきまして、富士見中・荒川中の生徒の皆さん、星川通り商店街の皆さんと共に灯籠作りを致しました。和やかな雰囲気の中で当日に想いを馳せながら、短時間で立派な灯籠が出来上がりました。

会長 植野 智恵子



## 今後の活動

### 第17回 輝く経営講座 「なないろ食堂の活動について」

【日程】 令和5年9月12日

### 2023年度 埼玉女性セミナー 「町工場発!女性社長の経営改革と人材育成」

【日程】 令和5年9月15日

【講師】 ダイヤ精機株式会社

代表取締役 諏訪 貴子 氏

### 第55回全国商工会議所女性会連合会 新潟全国大会

【日程】 令和5年10月5日~6日

【会場】 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 他

## 灯籠流し

8月16日に星川にて灯籠流しが行われました。藤間実行委員長をはじめ、小林哲也市長他が参列し戦災者慰靈之女神像前で慰靈式典を行い、その後星川に灯籠流しが行われました。

8月14日終戦前日にB29の爆撃機を中心に熊谷は空襲を受けました。主に焼夷弾による市街地では死者266人、負傷者3000人、焼失家屋3600戸、多くの方が犠牲になりました。

戦争を知らない私は先人の苦労を知り、今ある自由、食、平和のありがたさを改めておもい、そして後世に伝える義務があると感じました。 広報委員会 中島 千尋



## 編集後記

コロナ禍に遭い4年ぶりの開催となった夏の風物詩「関東一の祇園、熊谷うちわ祭り」には75万人もの人出で賑わい、12台の山車による叩き合いに魅了されました。当たり前が当たり前でなくなることを経験し、ありがとうの気持ちが溢れました。

広報委員会 水野 純子

広報委員会 / 委員長 中島千尋 副委員長 大川和代・鈴木智子  
日向美津江・笠原洋子・堀口綾子・川野辺あき  
萬年綾子・斎藤真由美・委沢千津子・水野純子

事務局 / 内田茂樹・大島修一  
印刷 / (株)プリントライフ



## ごあいさつ

会長

**植野 智恵子**



過去3年間コロナ禍で縮小せざるを得なかった「関東一の祇園」熊谷うちわ祭りが戻ってきました。祭りの20日から22日までの3日間、絢爛豪華な12台の山車と屋台がお囃子を鳴り響かせながら町内を巡行します。全町叩き合いに始まり、最終日の曳っかわせ叩き合いに終わるダイナミックな巡行とお囃子は、多くの人々の心をひきつけて離さない、夏本番を告げる熊谷の風物詩です。長い歴史に培われた迫力満点のお祭りは、市民の皆さんのが活気があふれています。75万人ともいわれる人々に埋め尽くされた国道も、巡行終了後はゴミ一つ落ちていません。市民の皆さんのが力のなせる業かと思います。心をひとつに継続して伝統を繋いでいくことの大切さを体感できたひとときでした。

日本の「豊かさ」は、無駄なものをとことん取り除いた先にあります。西洋は足し算の美学であり、日本は引き算の美学といえるかもしれません。情報にあふれた現代社会の中で、余計なものをそぎ落としたところに存在意義があるかもしれません。世代を超えた数えきれないほどの、多くの人々の熱き想いが伝統を紡いてきました。大久保会頭のお話にあるように、改めて人々が心をひとつに、強い「結束」と高い「規律」とお互いを「尊重」する精神で未来に紡いでいきたいものです。さまざまな活動が再開されてきています。これからも女性会活動を通して、絆と連携を深め活動してまいりたいと思います。今後とも皆様の温かいご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 第31回 熊谷商工会議所女性会 定期総会

4月26日(水)に熊谷商工会議所女性会第31回定期総会が当所大ホールで開催されました。会員数52名中24名の出席と、ご来賓として大久保会頭の御臨席を頂きました。総会では慎重審議の上、上程議案は全て可決されました。事業報告の中では、令和4年の大行事30周年記念式典について、無事盛会裡に終了し、ひとつの区切りと次のステップへの礎となつたことが報告されました。また、「絆」という30周年記念誌も上梓することができました。ご来賓の埼玉県内の多くの女性会の皆様に、ここは熊谷、ラグビータウン、そしてうちわ祭りのある熊谷、その中で地域に向か存在を発信している熊谷女性会としてのアピールができました。大久保会頭からは祝辞を頂き、女性会としての本懐を遂げるべく皆様の励みに期待するとの激励とご自身の座右の銘である「孤掌鳴らし難し」のゆえんをご教示頂き、有意義な時間となりました。孤掌とは片手の手のひらの意で、それだけでは手を打ち鳴らせないところから、人間は一人だけでは生きられないこと、事を成し遂げられ

ないことのたとえです。世の中は今、「ウエルビーイング」という言葉がよく使われています。この言葉は健康で幸福な状態を指しますが、この事実が欠如しているために流布されているのかもしれません。長寿化を健康で豊かに過ごせる社会にする、そこに女性会の本懐はあるのだろうと思いました。

常任理事 藤野 佳子



## 関東商工会議所女性会連合会 2023年度総会「前橋大会」

令和5年5月12日に群馬県前橋市ベイシアホールにて、関東商工会議所女性会連合会2023年度総会が開催され、熊谷から9名出席いたしました。関東74単会より16名の御来賓をお迎えし、約700名の女性会会員の参加のもと慎重に審議されました。

記念講演では「ハンカチ王子」として大フィーバーを巻き起こした、群馬県太田市出身の株式会社 斎藤祐樹 代表取締役 斎藤祐樹氏をお迎えし、「継続することの大切さ」と講演会2日後がちょうど5月14日で母の日ということで、幼少期から今日までの母親との関係性を、斎藤佑樹を育てた母ならではの子育て術や、なんともシンプルで簡単な自主性を伸ばす言葉、高校時代の悩みを一言で解決したアドバイスに、是非多くの方に聞いて欲しいと思えた講演でした。

今年度は4年振りに参加人数制限を設けず多くの会員の皆様と顔を合わせて開催することができました。

研修交流委員会 尾嶽 真理子



## 染色体験に参加して

7月11日「第2回染色体験教室」を開催いたしました。今回は夏らしく藍染です。参加者は10名。先生は前回と同じく「染工房 花ごろも」の小池啓子先生です。

まず、①染色前のストール選び ②一色かグランデーションかを決め 次に③水洗い ④染液に浸す ⑤色止めとして酢を入れた水に浸す ⑥その後、しぼり陰干しで完成です。全行程5分くらいです。夏らしく涼やかな1枚に仕上りました。この夏も



## 第38回 埼玉県商工会議所女性会連合会 通常総会「本庄大会」

令和5年6月16日に本庄市五州園にて第38回埼玉県商工会議所女性会連合会・通常総会が開催された。記念講演では伊香保温泉ホテル松本楼の女将松本由紀様をお迎えし「コロナ禍での挑戦～日本一社員、お客様、環境にやさしい宿を目指して～」についての講演ではコロナ禍で時間が出来たからこそ社員教育に力を入れたなど、まさに苦難を逆手に取った発想に感心しきりでした。コロナ禍では制限されていた交流も、久しぶりに大勢の方とリアルに会い、食事を一緒にしおしゃべりできた事は、日常の有難さを共感できた思い出深い総会になりました。

副会長 高木 久美子



暑い熊谷ですが、冷房対策に藍のストールは最適です。ぜひ自慢してしまいましょう。

次回は秋らしく柿渋染を予定しています。体験がまだの方、ぜひ自分だけの1枚を手にしてみてはいかがでしょうか。

研修交流委員会 島村 紀美江

## 各委員会活動について

### 総務委員会

委員長 中島 あけみ



6月8日、うなぎの廣川に於いて、8名の出席でランチミーティングを行いました。久しぶりの食事会を兼ねた開催で、皆さん楽しく会議を行う事が出来ました。



### 研修交流委員会

委員長 島村 紀美江



8/8 女性会研修交流委員会のランチミーティングを以前もお邪魔している「アミュゼ」で開催致しました。

日々暑さが更新される中お集まり頂きました。目にも涼やかなお料理を頂きながら、うちわ祭り、熊谷花火大会、染色体験、秋の日帰り研修の事などなど・・・いろいろな 話題に花が咲き、お食事の手も止まりがちでした。

年末にかけて催しが目白押しです  
皆様のご参加、ご協力よろしくお願い致します。

### 広報委員会

委員長 中島 千尋



広報委員長の中島ちひろです。

5月23日に『アミュゼ』にて広報委員会のランチミーティングを行いました。新型コロナ感染が落ち着き、通常通りに行われる行事について話し合いをしました。食事をしながら皆さんとお会いするのはとても楽しく、笑い声が絶えないミーティングとなりました。今後の活動もとても楽しみです。

## 2023年 熊谷花火大会

8月12日(土)に「第71回熊谷花火大会」が開催されました。新型コロナ感染拡大後からは、4年ぶりに通常開催する事ができました。大勢の人で賑わい、露店で買い物する子供たちの歓喜とドーンと大きな音と夜空に写し出される色とりどりの花火に魅了されました。熊谷の夏の風物詩、10000発の花火を楽しみました。

